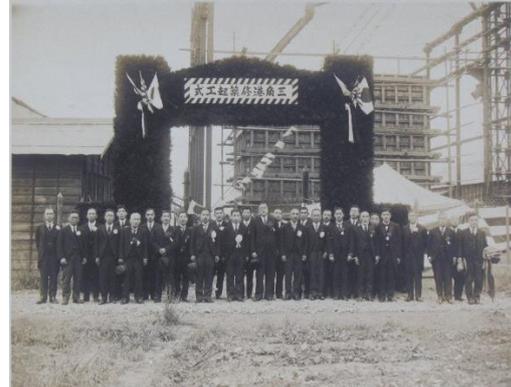


三角再発見

～三角港開港から天城橋開通までの歴史を訪ねる～

【旅のしおり】



平成30年9月1日

NPO法人熊本まちなみトラスト（KMT）

資料作成●辻 泰明

熊本大学大学院先端科学研究部（工学系）くまもと水循環・減災研究教育センター地域デザイン部門

参加予定者●磯田桂史 熊本大学五高記念館／竹田宏司 玉名市職員／鄭一止 熊本県立大学／豊永信博 南栄開発／富士川一裕 KMT事務局長／松波大仁 KMT広報部会長／辻泰明 熊本大学／以上KMT理事／池田由美 KMT会員／坂田純一文化財保存計画協会／村田幸博 熊本市南部地区市民の会／杉本宙矢 NHK熊本放送局

午前のみ参加・・・山川満清 熊本県建築士会

午後のみ参加・・・伊藤重剛 KMT理事長／田中光徳 高浜振興会（天草市）／

上農淑子 KMT会員／

目次

序章 三角路

1. 1	はじめに		…	2
1. 2	ツアーの行程		…	2
1. 3	平成 熊本駅	在来線高架化と駅ビル再開発計画	…	4
1. 4	明治 網田駅	NPO法人網田倶楽部による管理運営	…	4
1. 5	景勝 御輿来海岸	くまもとアートポリス・宇土マリーナ	…	4

第2章 三角の瀬戸

2. 1	明治 三角西港	世界遺産登録から3年経った現状	…	5
2. 2	大正 旧細川別邸	特別ガイド・山川満清さんによる説明	…	9
2. 3	景勝 三角の瀬戸	お爺婆山・三角岳・天翔台・飛岳と荷島	…	12
2. 4	昭和 天門橋	森慈秀・森国久と天草五橋開通 50年	…	13
2. 5	平成 天城橋	開通までの道のりと開通日レポート	…	14

第3章 三角線

3. 1	大正 岩永製材所跡	岩永組発祥の地・赤岩	…	15
3. 2	明治 塩屋隧道	塩屋干拓と辻家跡	…	15
3. 3	江戸 波多神社	彫刻・狛犬・石灯籠	…	15
3. 4	明治 三角線橋梁	自助社製赤レンガによる鉄道施設	…	16
3. 5	昭和 石打ダム	治水・利水の多目的ダムとアートポリス建築	…	16

第4章 三角東港

4. 1	昭和 頌徳碑	馬立の清原猛雄・辻始頌徳碑	…	17
4. 2	明治 三角駅	三角駅の記憶と水戸岡デザイン	…	17
4. 3	明治 三角海運社屋	長崎からの移築と伝わる洋風建築	…	18
4. 4	平成 東港広場	キャノピーと「うきモビ」セグウェイ体験	…	18
4. 5	平成 海のピラミッド	フェリー廃止と灯台から見る景観	…	19
4. 6	平成 漁業取締事務所	くまもとアートポリス建築・小材氏設計	…	19
4. 7	平成 くまモン壁画	くまモン誕生史を物語るまち・三角	…	19
4. 8	昭和 旧中野歯科医院	辻医院隣接の洋風医院建築	…	20
4. 9	大正 旧辻医院	熊本県史に様々に関与する辻家	…	20

最終章 未来へ

5. 1	辻医院のこれから	…	26
5. 2	周辺情報	…	27

序章 三角路

1. 1 はじめに

本日は、熊本まちなみトラスト夏季イベント「三角再発見～三角港開港から天城橋開通までの歴史を訪ねる～」にご参集いただき、誠にありがとうございます。今年度から理事を務めております熊本大学大学院非常勤職員の辻泰明です。

三角西港が、明治日本の産業革命遺産の構成遺産の一つとして世界遺産登録され3年が経ちました。今年度は熊本天草幹線道路の大矢野バイパス区間・天城橋が開通し、天草の崎津集落が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産登録されるなど、宇土半島・天草を結ぶ観光ルートに注目が集まっています。世界遺産登録という高い評価を受けてきた三角西港に対して、三角東港の歴史的建造物は埋もれた存在になっていました。

本企画では、文化財としての保存・活用が検討されております三角西港荒川の旧細川別邸、東港の旧辻医院を特別公開し、三角港開港から現代に至るまでの記憶を継承する建造物を巡りながら、今後の三角浦のまちづくりを考える足がかりにしたいと考えております。

立ち寄り地を欲張った行程で、かけ足での訪問になりますが、1日お付き合いよろしく申し上げます。

平成30年9月1日 総合ガイド 熊本まちなみトラスト理事

熊本大学大学院先端科学研究部（工学系）非常勤職員 辻 泰明

1. 2 ツアーの行程

本日のツアーは2部構成となっています。

午前の部は、レンタカーに分乗しての名所巡りです。次頁の図1のように、三角西港から旧細川別邸、大矢野バイパスをドライブしてからの新旧1号橋見物、三角線沿線、石打ダムを訪問する予定です。レンタカーが3時間の時間制限となっていますので、スケジュールが押した場合には一部割愛させていただきますこと、予めご了承をお願いします。

レンタカー返却後、昼食を「大番」というお店でとります。名物の「鯛茶漬」をお楽しみください。昼食会場の「大番」から午後の部の集合場所・三角駅までの道中、寄り道して、清原猛雄・辻始元町長の顕徳碑もご覧になられてみてください。

午後の部は、三角駅から旧辻医院まで三角東港の散策です。図2のルートを予定しています。熱中症にはくれぐれも注意して、気分が悪くなったときは、早めの申し出をよろしくお願いします。なお、本日の事前申込参加者は国内旅行傷害保険に加入してありますので、帰宅するまでの事故に対して補償が適用されます。

この旅のしおりは、3章までが午前の部、4章からが午後の部の説明内容となっています。別添の資料も適宜、説明に使いますので、旅のお供によろしく申し上げます。

ツアーの行程

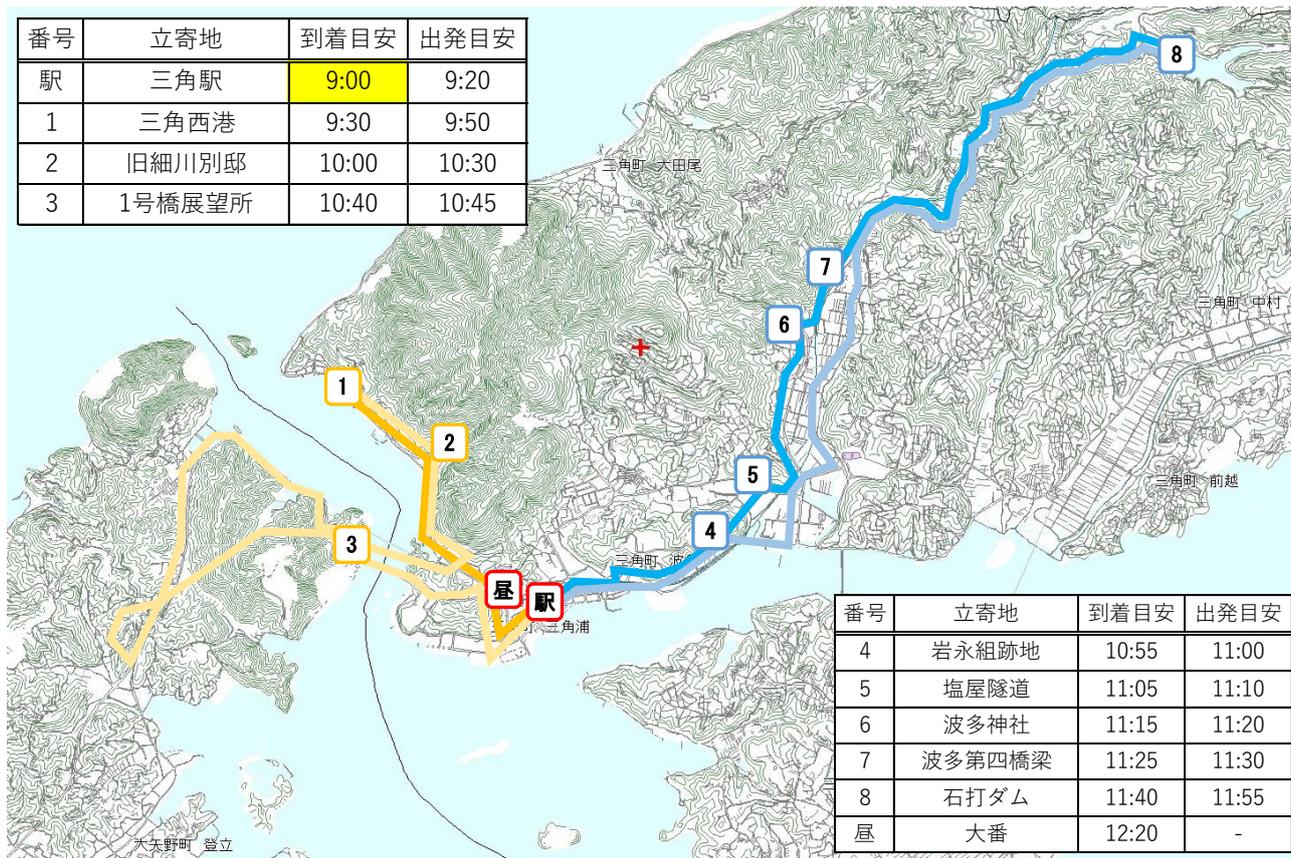


図1 午前の部 レンタカーで巡る三角の瀬戸と三角線沿線



図2 午後の部 ぶらりと歩く三角東港（地図はいずれも「くまもとGPマップにより作成」）

1. 3 平成 熊本駅

在来線高架化と駅ビル再開発計画



最初の集合場所にしておりました熊本駅は今年3月に在来線駅舎の完全高架化が完了し、今回整備区間の豊肥線高架化区間開通前にはレールウォークイベントも開催されました。運用開始後、駅のホームが狭くなって危険だという利用者の声も散見されているようです。

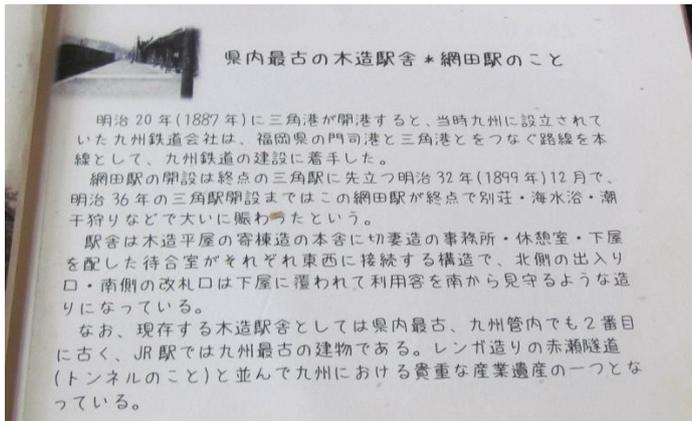
熊本駅では、2年後の開業を目指して在来線駅舎の新熊本駅ビル、3年後の開業を目指して新複合ビルの開発計画が進行中です。政令市・熊本市の玄関口にふさわしい新都心の形成が期待されます。

開通前のウォーキングイベント

1. 4 明治 網田駅

NPO法人網田倶楽部による管理運営

明治32年、九州鉄道三角線開業時に完成した網田駅舎は、現存する木造駅舎として県内最古のものです。平成25年に宇土市が駅舎を買収し、国登録有形文化財になりました。NPO法人網田倶楽部によって休日限定の「網田駅カフェ」として活用されています。網田焼の食器、ネーブルオレンジを使ったデザートなど、特産品を活かした地域おこしの拠点施設となっています。



NPO作成の説明 開業時に終点だったというのは誤り

駅外観とレトロな雰囲気を出した内装

1. 5 景勝 御輿来海岸

A列車で行こうは時速30キロ制限で徐行



干潟景勝の地から見た夕日

網田駅を三角駅に向けて出発してすぐ、右に見えてくるのが景勝地の御輿来海岸です。A列車で行こうは、この区間徐行運転します。

名前の由来は、その昔、景行天皇が九州巡幸の際、美しい海岸線が目にとまりしばし御輿を駐め見入られたという伝説からその名がつけられたとされています。干満の差が日本一の有明海で、当海岸の潮が引いた砂地には、風と波による美しい曲線美の砂紋が現れます。「日本の渚百選」、「日本の夕日百選」に選定されています。



浦島屋背後の左の山がお爺婆山



山頂付近にある2体の石像



大田尾にある津波境の碑

2. 1. 2 浦島屋・西港明治館について

本日、お集まりの皆様にはあらためて説明するまでもないかもしれませんが、浦島屋は従来、隣の龍驤館の場所にあった建物を平成5年に復元した建物です。明治20年西港築港時に開業し、開港式典に出席する逓信大臣、九州内の各県知事ら来賓の宿舎にもなりました。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が、明治26年7月22日、長崎からの帰途に立ち寄り「夏の日の夢」と題した紀行文の舞台となった旅館です。明治38年に解体され、中国の大連に運ばれました。平成5年、ハーン来訪100年を記念した年に建築家・上田憲二郎によって設計図、古写真を元に復元されました。この復元に関する回想は、熊本日日新聞の「わたしを語る」平成28年5月4日の朝刊に掲載されています。

昨年は、西港開港から130年の記念の年でした。10月に宇城市が開催した記念イベントで、熊本市出身の空間デザイナー仁木洋子さんの演出で、1ヶ月間、青くライトアップされていました。

さて、この浦島屋1階には、今年の3月末までカフェが営業していました。年度替わりに、旧三角海運倉庫のレストランとあわせて更新時期を迎え、宇城市では公募型プロポーザルによる入居者の募集を行っていました。その結果、旧三角海運倉庫には宇土市の精肉店が営業するレストランが入居し、4月28日から「西港明治館」として活用されることになりました。一方で、浦島屋には応募がなく、休憩所・イベントスペースとなっています。3月まで浦島屋に入居していたカフェは、近くの空き家を活用して再営業しているようです。

浦島屋や西港については、小泉八雲熊本旧居（記念館）の館長、坂本弘敏さんが研究をされていますので、興味のある方は八雲旧居を訪ねてみてください。小泉八雲は、災害伝承の「稲むらの火」の英語版「A Living God」を著し、世界共通語となっている「Tsunami」を世界に広めました。11月5日が津波防災の日、国連制定の世界津波の日となっているのは、稲むらの火の題材になった1854年11月5日、安政南海津波地震にちなんだものです。



昨年10月のライトアップイベント



4月オープンのレストラン「西港明治館」



2. 1. 3 高田回漕店にまつわる最新研究

熊本市歴史文書資料室を介して知り合った、熊本出身、東京田園調布在住の立山一郎さんという方が、「明治前期の肥後航路と汽船便」という書籍を8月に発刊されました。その中で、宇城市指定文化財の旧高田回漕店にまつわる詳細な歴史研究が発表されていますので紹介します。

次頁の九州日日新聞掲載広告にあるように、高田運漕店の本店は中唐人町にありました。まちなみトラストの活動拠点、新町古町地区と三角の密接な関係を示す一つの事例と言えるでしょう。立山さんは、建物のパンフレットを置くなど、高田義丸の業績をもっと顕彰して欲しいと話をされていました。



(出典：人物熊本)

4. 高田義丸(肥後熊本)

高田義丸は嘉永5年(1852年)筑前那珂郡春吉村に生まれ、既述の通り末松政右エ門の経営する末松商店に勤務し、汽船回漕業や米穀取引の勉強をします。

末松商店は明治12年に熊本及び百貫に支店、出張所を開設し、高田義丸はこのとき同商店百貫出張所の責任者として博多から移住します。当時27歳でした。

彼は百貫港を発着する光運丸やテーボル号などの汽船荷客取扱業に従事すると共に米穀商を兼業します。また、彼は明治13年6月16日に開設された百貫郵便局の初代郵便取扱人にも任命されています。

彼は当時地元の最大の回漕店であった木崎健太郎と協同して、博多時代の米穀取引の経験を活かし、肥後米の大阪、東京への輸出を手掛け財をなします。この米穀取引を通じて大阪の堂島米仲買人福永正七と昵懇となり、明治20年7月正義丸の共同購入や明治38年6月には福永等が創設した海外貿易会社(明治27年10月設立、本社広島市、明治29年4月には大阪に本社移転)の取締役に就任するなど長きにわたり取引関係を継続します。

明治20年8月から肥後の主力港は三角港に移りました。このため末松商店は明治20年4月頃三角港に出張所を設けます。高田義丸は明治20年7月に福永正七と共同で正義丸を購入し、汽船運搬業と米穀商に専念するため末松商店を退職しました。正義丸などの汽船荷客取扱は末松商店に任せます。

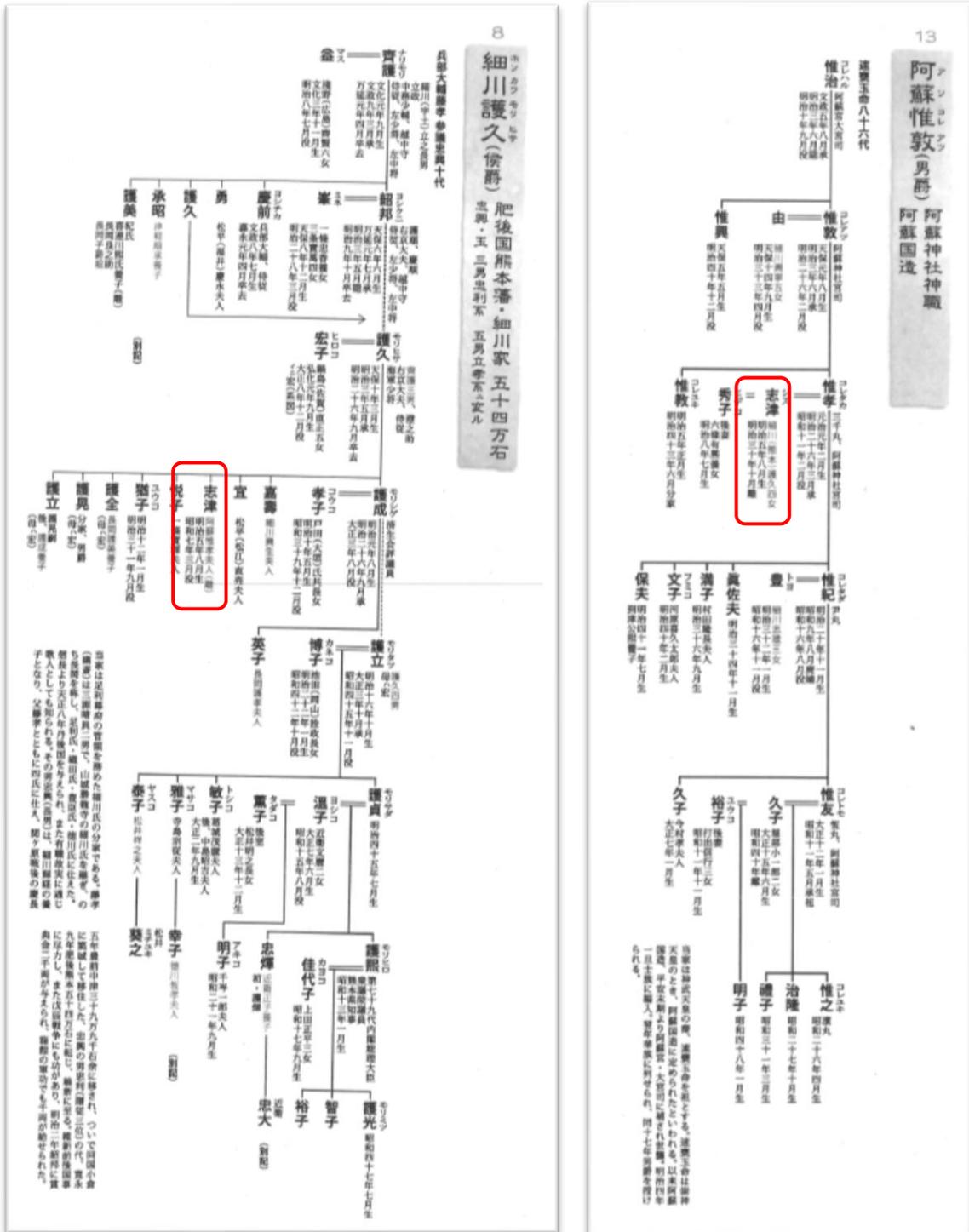
高田義丸は明治29年に福永正七から正義丸の持分を買い取り完全に自社船とし、引続き米穀商を行いながらの汽船運搬業を営みます。明治34年4月には新正義丸を建造し、正義丸と2隻の中型汽船を保有することとなり、木崎商店、末松回漕店と協力して大量の肥後米の輸出に取組みました。

高田は上述の通り明治19年末頃まで回漕店肥後末松商店に勤務していましたが、明治20年頃には独立し、汽船正義丸を共同保有し汽船運搬業と米穀輸出商に転業しました。

しかし、明治30年に末松商店熊本支店長高島次郎吉が病気となり業務遂行に支障をきたすこととなったことから、次頁上の広告の通り、明治30年10月1日より末松支店を「高田運漕店」と改め、再び汽船荷客取

2. 2 大正 旧細川家別邸 特別ガイド・山川満清さんによる説明

旧細川別邸は、従来明治37年建造と伝えられており、本イベントの案内文でもそう記していました。棟札により、大正元年から2年に建てられていたことが判明したようです。施主の志津子姫こと細川静子は、明治5年8月6日、細川護久の4女として熊本浜町邸に生まれ、明治19年12月13日、阿蘇神社宮司阿蘇家の男爵阿蘇惟孝と結婚し、一子惟紀（これただ）をもうけます。しかし、明治30年10月16日に離婚。細川家に復籍し、晩年まで過ごしたのがこの別邸だったようです。建物については、特別ガイドの山川満清さんより説明いただきたいと思います。



建物履歴及び特徴

旧細川家別荘とよばれるこの建物は細川護久の娘志津子(静子)により大正元年に建てられた。志津子(静子)は明治30年に離婚復姓した後、この別荘で暮らしたとされるが昭和7年61歳で亡くなるまでのどれくらいの間生活したかは不明である。この建物は、江戸末期の武家屋敷の形式をよくのこす和風建築である。式台付きの玄関を入ると畳のある8畳の表座敷があり、南と西の2方に縁が廻っている。この部屋と駒形に折れ8畳の2部屋が続いており、奥が奥座敷で、畳床と板床を備え、南に縁、北に入側の通路がついている。2階は縁が付いた8畳の和室と屋根裏の納戸が設けられている。平成初期まではお茶会等が開かれるなど使われてきたが、その後空き家となり現在は管理が難しいのか荒れ放題の状況となっている。外部は全体的に材料の腐朽化が進み、屋根瓦の剥落、外壁土壁の亀裂損壊がいたるところにみられ、そのため、軸組部材の腐食が進み、条件の悪い北側庇の前壊を招いている。またこれらの屋根、外壁の損壊や雨戸や外回りの建具の損壊による開口が随所であり、風雨の侵入がひどく、ほとんどの部屋において床、壁、天井の仕上材は下地材から腐朽が始まっている。くわえて山間のため獣の侵入による糞尿の被害、国道から僅かの距離かつ雑木林の中で人目につきにくい盗難の被害が起こっている。この地域の歴史文化的に重要な意味を持つ建物である。現状はかなり腐朽化が進んでいるが、今ならまだ間に合う状態である。適切な保全の体制づくりを是非行うべきである。



玄関



1階和室(玄関奥)



1階座敷



縁



2階座敷

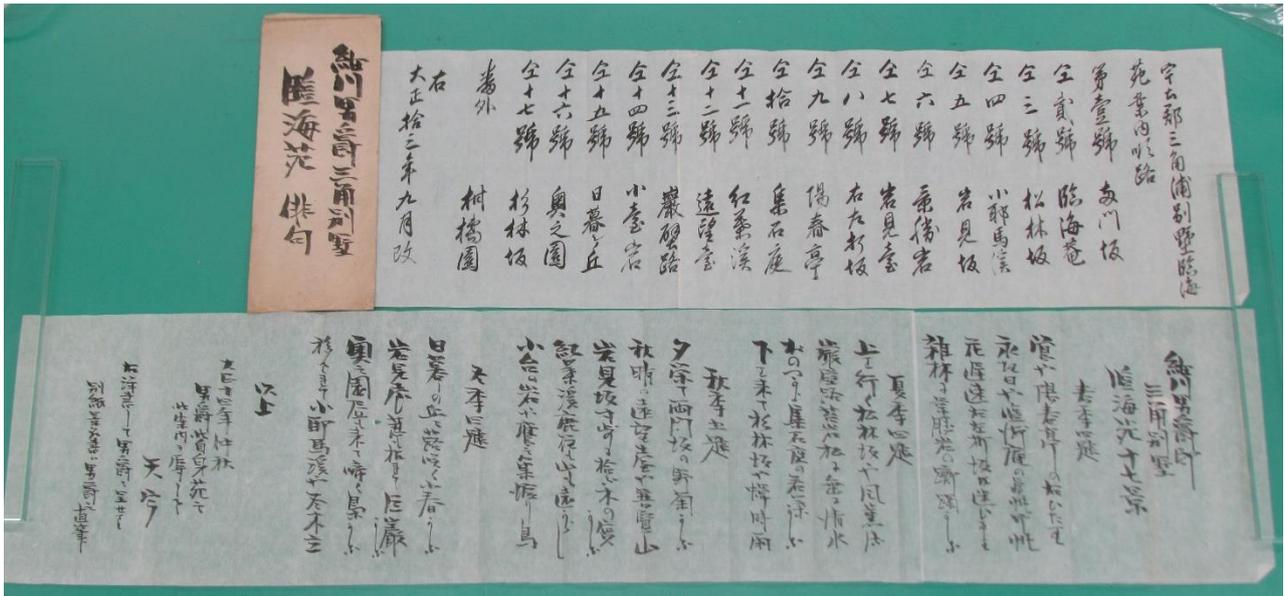


2階納戸

この旧細川別邸に關しまして、辻家に興味深い史料がありました。「細川男爵三角別邸臨海苑俳句」と書かれた封筒に保存されていたもので、大正14年仲秋に臨海苑で開かれた句会で「臨海苑十七景」にちなんで辻始（雅号・天宇）が詠んだ句と、出題した男爵直筆の書です。

辻家文書中の細川男爵が、当時侯爵だった静子の弟・護立を指すのか別の細川男爵を指すのか、臨海苑がこの建物を指すのかは判然としていません。今後も調査を進めたいと考えています。

別邸の近くには、行徳拙軒が建てた楽天草舎、細川刑部家の別荘、雲谷山大悲閣観音寺という庵なども建ち並んでいたようです。この庵に、行徳拙軒ら文化人が集まって読んだ明治43年発行の漢詩集、「雲谷山唱和集」が清永本店から発見されました。



大正14年仲秋、臨海苑で男爵直筆が出題した書（上）と辻始（雅号・天宇）が詠んだ句（下）

2. 3 景勝 三角の瀬戸 三角岳・天翔台・飛岳と中神島・荷島

三角の瀬戸は、古くから景勝地として親しまれてきました。熊大教育学部で去年まで講師を務められていた現筑波大助教の水野裕史先生が、永青文庫所蔵の杉谷雪樵筆「天草絵図」について、総合文化誌「KUMAMOTO」17号や永青文庫研究センターの機関紙「永青文庫研究」創刊号に寄稿されました。

「天草絵図」は、三角岳から天草方面を俯瞰した構図で、眼前の三角の瀬戸がダイナミックに描かれています。実際には見えない大矢野より先の風景も、飛岳頂上からの取材で補って描かれた、東洋的な俯瞰の構図と西洋的な遠近法を折衷した近代的な風景画と評されています。



杉谷雪樵筆「天草絵図」永青文庫蔵（熊本大学永青文庫研究センター「永青文庫研究」創刊号より転載）

杉谷雪樵は、熊本市坪井出身、晩年を東京で過ごした「熊本藩最後のお抱え絵師」と称される矢野派の画系につらなる絵師です。西原村河原で熊本地震被災した国登録有形文化財・矢野家住宅本宅の襖絵にも雪樵の作品があしらわれていました。



矢野家住宅本宅にある杉谷雪樵の襖絵（平成30年8月26日撮影）

2. 4 昭和 天門橋 森慈秀・森国久と天草五橋開通 50 年

天草1号橋（天門橋）など天草五橋、通称・天草パールラインは、昭和41年9月24日に開通しました。橋長502m、最大支間300mの連続トラス橋で、開通当時、連続トラス橋としては世界最長を誇り、技術的に優れた橋梁が表彰される第1回土木学会田中賞を受賞しています。

天草架橋は、湯島村（現在の上天草市）出身の県議会議員・森慈秀が、昭和11年12月3日の県議会において三角大矢野間架橋の必要性を説き、同20日に建議しました。軍艦も航行する三角の瀬戸を一跨ぎにする橋の建設は、当時の技術では困難と判断され構想実現には至りませんでした。戦後、長崎に西海橋（今年7月国登録有形文化財に登録決定）架橋の計画が持ち上がると、天草架橋の計画も再燃します。森慈秀、森国久らの尽力により、計画は現実のものとなり、昭和37年に起工式が執り行われました。架橋を前に、通過されるだけのまちになってしまう三角町は危機感を覚えていました。天門橋際の中学校跡地に観光ホテルを建設し、魅力向上に努めました。このホテルには、天草五橋の視察に来訪した昭和天皇も立ち寄った由緒があったのですが、経営が行き詰まり廃業すると、廃墟マニアの聖地と化しました。ホテル跡地は平成28年秋、メガソーラー施設として新たな歴史を刻んでいます。



昭和41年10月28日、天草パールライン観光ホテルから天門橋をご覧になる昭和天皇（左・皇室と熊本 行幸啓でたどる戦後70年より転載）と開通当時の辻家所蔵・辻忠徳撮影写真（右）

2. 5 平成 天城橋 開通までの道のりと開通日レポート

天城橋については、別添の県の資料をご覧ください。完工前の平成29年に作成されたものですので、その後の開通までの道のり、開通日の状況などをこちらでレポートします。

計画では、平成29年度内の開通を予定してありましたが、熊本地震の影響等による資材、機材の調達の遅れにより平成30年5月20日の開通となりました。

平成29年1月には、路面部分の部材が曳航してきた船から吊り上げる設置作業が行われ、多くの見物客で賑わっていました。10月までには道が一本につながり、工事用設備の撤去、陸路の整備が進められ開通に漕ぎつけたのです。



工事の様子（左・平成29年1月6日撮影、中・同年1月24日撮影、右・同年7月27日撮影）

開通を控え、熊本県・上天草市・宇城市では数々の企画が催されました。橋の名称を公募で決定したのもその一つで、2645点の応募作品から「熊門橋（くまもんきょう）」「新天門橋（しんてんもんきょう）」「天空橋（てんくうきょう）」「天城橋（てんじょうきょう）」「平成天門橋」の5点による一般投票で選ばれたのが「天城橋」でした。

開通前には、橋を自転車や徒歩で渡るイベントや、上天草市と宇城市の綱引き大会などが開催され、開通日には熊本ポートショーも開かれるなど見物客で賑わいました。



雨の中の綱引き（5月13日）



橋を海から見学できた浪漫クルーズ



熊本ポートショー（20日）



開通式典での橋名発表



天草拓心高校生徒によるハイヤの演舞



開通日の大渋滞（20日）

第3章 三角線

3. 1 大正 岩永製材所跡 岩永組発祥の地・赤岩



岩永組発祥の地・赤岩

明治43年創業の岩永組は、大正12年、赤岩地区に製材所を興しました。大正14年竣工の辻医院では、この製材所で加工された木材が使用された可能性が高いと言えます。

岩永組は、昭和13年に熊本市に出張所を設立。戦後、昭和22年に株式会社として法人化した際、本拠を熊本市に移しています。その後も、製材所、建材センター、営業所などを三角に置き、岩永組にとって三角は特別な場所でした。

3. 2 明治 塩屋隧道 塩屋干拓と辻家跡



赤煉瓦造の塩屋トンネル

塩屋干拓により現在は内陸部に位置していますが、以前は、塩屋踏切あたりまでが海でした。辻医院建築前の辻家は、塩屋踏切付近にあり、海に面していたようです。塩屋トンネル建造に使用されている赤レンガは、宇土市の自助社によるものと推定されています。

地域住民の請願により、昭和34年に波多浦駅が開業。メディカル・カレッジ青照館に通う専門学校生や熊本市方面に通勤・通学する地域住民が利用する無人駅です。岬神社は昭和7年に再建されました。

3. 3 江戸 波多神社 彫刻・狛犬・石灯籠

波多神社の社殿は、1858年（安政5年）の再建と伝わっています。御祭神は菅原道真公。建立・彫刻は、際崎出身の宮大工・榊原左八です。

神殿の前に狛犬が設置され、辻始の妻・タケが会長を務めていた愛国婦人会三角分会による石灯籠が奉納されています。辻始・タケが社殿前で写っている古写真が辻家に残っています。

戦後、神官となったのが阿曾田氏です。阿曾田家、岩永家の墓地が近くにあります。



菅原道真を祭る波多神社



神殿の前に安置された狛犬



昭和戦前に撮影された辻家の古写真

3. 4 明治 三角線橋梁 自助社製赤レンガによる鉄道施設



波多第四橋梁

波多第四橋梁は、三角線開通時に作られた支間およそ10mの橋梁です。上部工はドイツのハーコート社製の上路式鉄桁で、それをレンガ造のアバットで支えています。大正期、機関車の大型化に伴い架け替えが必要となりましたが、関東大震災復興のために予算が不足し、既存の桁を補強することとなり、フィンクバーを用いた補強が行われました。現在では見かけることが少なくなった、珍しい補強例です。

この他にも、開通当時の橋梁が今に姿をとどめています。

3. 5 昭和 石打ダム 治水・利水の多目的ダムとアートポリス建築

石打ダムは、波多川上流に1992年に完成した治水・利水目的の多目的ダムで、形式上は重力式コンクリートダムです。岩永組もJVで工事に参加しています。1991年竣工の管理所(青木茂設計)、1993年竣工の資料館(入江経一設計)がくまもとアートポリス参加プロジェクト建築です。

休日開館の資料館では、ダムカードが配布されています。



みかんの里に佇む石打ダム



三角の観光名所を描いたタイル画展示



ダムカードがもらえる資料館

熊本県内のダムカード配布場所一覧

水系名	河川名	ダム名	配布場所	配布日時
緑川	緑川	緑川ダム	緑川ダム管理所	8:30~17:15 (平日) 土・日・祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)は除く
菊池川	迫間川	竜門ダム	竜門ダム管理支所	9:00~16:30 (土・日・祝日含む) 年末年始は除く(12月29日~1月3日)
筑後川	津江川	下笠ダム	下笠ダム管理支所	8:30~17:15 (平日) 10:00~17:00 (土・日・祝日)
球磨川	球磨川	市房ダム	市房ダム管理所	毎日(土・日・祝日含む) 9:00~17:00
氷川	氷川	氷川ダム	氷川ダム管理所	毎日(土・日・祝日含む) 9:00~17:00
波多川	八柳川	石打ダム	石打ダム資料館	年末年始(12月29日~1月3日)を除く土・日・祝日 9:00~17:00
			宇城地域振興局土木部工務課	年末年始(12月29日~1月3日)を除く平日 9:00~17:00
白川	白川	立野ダム	立野ダム展望所	7:00~17:00 (火曜日定休)
球磨川	油谷川	油谷ダム	九州電力熊本支社	ダム訪問後、電子メールで申し込み郵送

第4章 三角東港

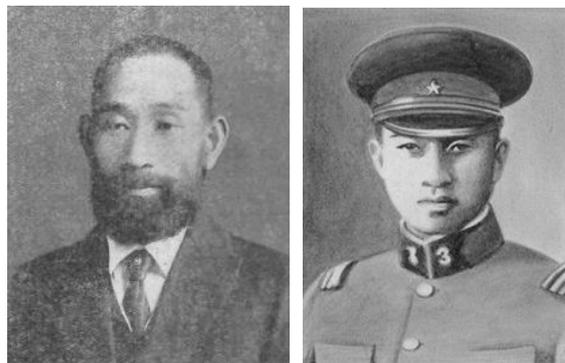
4. 1 昭和 頌徳碑 馬立の清原猛雄・辻始頌徳碑

馬立に、大正 15 年から 9 年までの三角町長・清原猛雄と 9 年から 20 年までの三角町長・辻始の頌徳碑があります。清原猛雄は、明治 5 年 1 月川尻生まれで、安達謙蔵の隣家で育ちました。代議士秘書や日清・日露戦争従軍を経験後、明治 35 年から濟々覺の舎監に就任し、不知火町松合の御船家の長女と結婚します。千里眼で有名な御船千鶴子が義妹で、清原が千里眼を教え、井芹経平に紹介したと伝わっています。清原は、転地療養のために移住した三角西港で日本銀行三角支金庫所長となり三角町政に携わるようになっていきました。清原の安達謙蔵との人脈が、三角東港修築にも活かされることになりました。町長退任後は、福岡市や熊本市で余生を過ごし、昭和 40 年 11 月 27 日、94 歳で死去しています。清原の頌徳碑が建立されたのは昭和 56 年のことです。

清原猛雄の家族に関連して、千里眼の御船千鶴子とは別の歴史的エピソードがあります。清原の五男、康平（やすひら）は昭和 11 年の 2・26 事件を起こした青年将校の一人で、反乱罪で無期禁固刑を受けたものの、恩赦で釈放、公職追放後も社会で活躍した人物です。



辻始頌徳碑（左）と清原猛雄頌徳碑（右）



清原猛雄（港湾より転載）と清原康平（転載）

4. 2 明治 三角駅 三角駅の記憶と水戸岡デザイン

明治 32 年に鳥崎地区まで開業した九州鉄道三角線三角駅は、明治 36 年に現地まで延伸されました。駅舎は、改築、改装が繰り返されており、2011 年、「A 列車で行こう」の運行開始にあわせて、現在の水戸岡鋭治デザインのものにあらためられています。

昭和 13 年、来日中のヘレン・ケラーが島原から熊本入りした際、辻始が三角駅で町長として出迎えています。昭和 41 年に天草五橋開通を視察した昭和天皇も利用しました。



昭和 40 年代の三角駅（辻家古写真・昭和天皇が利用した頃）



現在の三角駅

4. 3 明治 三角海運社屋 長崎からの移築と伝わる洋風建築



明治44年、肥後汽船、三山汽船、深川汽船の3社が合併して発足した九州汽船（現在の九州商船）が、三角駅構内に新設した三角支店の建物です。建物は、長崎から移築したとも伝わっています。現在は、三角海運株式会社の社屋となっています。

明治31年に創業した肥後汽船は、社長に日奈久温泉・金波楼の松本清三郎、重役に本渡出身の県議で、鳥崎に別荘を構えて東港修築を熱弁した大谷高寛らが就いていました。一時、辻始が嘱託医を務めていた時期があります。

東港で明治の面影を残す三角海運社屋

4. 4 平成 東港広場 キャンपीと「うきモビ」セグウェイ体験

平成28年4月に完成の東港広場は、景観デザインを熊本大学景観デザイン研究室（星野裕司先生、増山晃太研究員ら）が担いました。緑地主体の基本設計に、計5回のワークショップで寄せられた市民の声を反映し、イベントに使いやすいよう舗装面を大きくしたそうです。ベンチには飛岳石が使用されています。通路の屋根（三角港キャンピー）はネイ&パートナーズが担当し、第11回日本構造デザイン賞、2017年グッドデザイン賞を受賞しました。

先月10日からスタートしたシェアリングサービス「うきモビ」では、東港広場でセグウェイ体験が可能です。詳しくは別添のパンフレットをご覧ください。

利用者の評価

住民参加の仕組み (4.5)

駅からの眺望のよさ (4.6)

駅からの船着き場への動線の分かりやすさ (4.4)

通路に屋根を架けたこと (3.4)

新旧施設がなじんでいる (4.1)

デザイン (4.0)

や広場ができて自然な景色になった」(17才女性)など、新旧施設の調和を評価する声も複数あった。

通路の屋根(写真4)は「モダン」、「動線が分かりやすい」と評価する声の一方で、「屋根が高すぎて雨が吹き込む」との意見も多かった。「木陰がほしい」、「案内看板がほしい」といった意見もあった。

事業者の説明

広場整備のほか、屋根の線形や高さ、幅員などは、ワークショップでの意見を踏まえて設計されている。

駅側から見た時に、海へと視線が抜けるように、通路の屋根の高さは4.5mと高くした。屋根は、日よけや雨よけとしての機能とともに、船着き場への動線明確化も目的だ。屋根が高い分、幅員を5mと広くしている。

木陰を形成するための植樹のほか、案

写真4 ■ 駅舎の外から港方向を見る。海への視線を遮らないように屋根の高さを4.5mと高くした

利用者の声

「自然な港の風景に」

駅から海への眺望の良さは4.6ポイント。「海も「ピラミッド」も島も見渡せる」(40代女性)と好評だ。「整備前はピラミッドだけが変に目立っていたが、屋根

内看板の設置など、今後、利用者の意見を聞きながら整備を進めていきたいと考えている。日差しや雨が強い日は、日中開放している「海のピラミッド」も活用してほしい。(熊本県土木部河川港湾局港湾課の弓削真也審議員)

【アンケートの概要】三角東港広場を歩いていた人や地元住民など計28人に、5段階評価の質問に答えもらった。5が満点で1に近付くほど評価が低い

利用者の評価（日経コンストラクション2016年9月26日号より転載）

4. 5 平成 海のピラミッド フェリー廃止と灯台から見る景観

海のピラミッドは、葉祥栄設計、岩永組施工のくまもとアートポリスプロジェクト建築です。1990年に竣工しました。当初はフェリーターミナルでしたが、2006年に三角島原間のフェリーが運行廃止されターミナルとしての役目を終えました。一時、週末の若者向けイベント会場として使用されていましたが、現在は休憩所として開放されています。東港広場の整備を機に、三角港の活性化に寄与する使用法が検討されています。

海のピラミッドの展望台からは、明治31年竣工の寺島灯台が見えます。寺島灯台のある寺島は、佐賀県のベストアメニティがグランピング施設としてリゾート開発することが発表されています。戸馳島では、篠崎造船所が現役で稼働しています。港湾景観をお楽しみください。



KAP 建築・海のピラミッド



展望台から見える寺島灯台



現在も稼働している篠崎造船所

4. 6 平成 漁業取締事務所 くまもとアートポリス建築・小材氏設計



KAP 建築・漁業取締事務所

熊本県漁業取締事務所は、ばん設計小材事務所・小材健治設計のくまもとアートポリスプロジェクト建築です。1998年竣工。小材さんには、4月14日、PSオランジュリで開催したイベントで、デザインコードについて語っていただきました。

漁業取締事務所では、「あそ」などの取締船3隻、取締艇1隻で県下の海面及び内水面の漁業取締業務に当たっており、漁業違反の未然防止と漁業違反者の取締を行っています。

4. 7 平成 くまモン壁画 くまモン誕生史を物語るまち・三角



三角ショッピングセンター跡のくまモン壁画

三角ショッピングセンター跡地にあるくまモン壁画は、平成22年3月のくまモン登場後間もない4月に、店員の発案で描かれた、くまモンの民間利用としては最初期のものです。市民を巻き込んだ地域づくりの成功例を物語る「くまモン遺構」の一つと言えるでしょう。SCは閉店し、壁画の去就が気になります。

4. 8 昭和 旧中野歯科医院 辻医院隣接の洋風医院建築



旧中野歯科医院

旧中野歯科医院は、昭和初期竣工と推定される洋風医院建築です。開設者の中野守さんは、辻始顕彰会「天宇会」の発起人、代表世話人を務めました。なかの歯科医院が、国道沿いに新築開業されているため、医院としての役目を終えています。辻医院と一体となった保存・活用が期待されます。隣接して活版印刷所もあり、三角東港のレトロスポットとしてのポテンシャルが高い地区です。自助社煉瓦工場跡地にあたり、周囲には風化した赤煉瓦が散見されます。

4. 9 大正 旧辻医院 熊本県史に様々に関与する辻家

4. 9. 1 辻医院の概要

辻医院は、大正14年、元三角町長の辻始が開設した医院跡です。辻始は、旧中村小児科医院開設者の中村スモルらとともに、春雨覺・九州学院医学部に学び医学の道へ進みました。親戚関係の濱田玄達が東京に開業した濱田病院、北海道の増毛病院、羽幌病院に勤務。北海道時代には道会議員を2期務めました。父の死を機に、帰郷。大正末期から昭和にかけて三角東港の修築に尽力し、戦時中の三角町長を務めています。詳しくは別添の発表原稿をご覧ください。

昭和45年に建て替えられる前の本家を含めて、岩永組の創始者・岩永喜久太郎が棟梁を務めています。岩永組が手がけた現存建築物で、最古のものと推定されます。建て替えられた居住棟の設計者は、のちに医療建築で著名になる中川久です。中川建築設計事務所は、くまもとアートポリス建築・天草ビジターセンターや平成23年3月竣工の熊本市医師会館・看護専門学校なども手掛けています。



辻医院外観道路側



辻医院外観中庭側



辻医院内部



辻邸居住棟

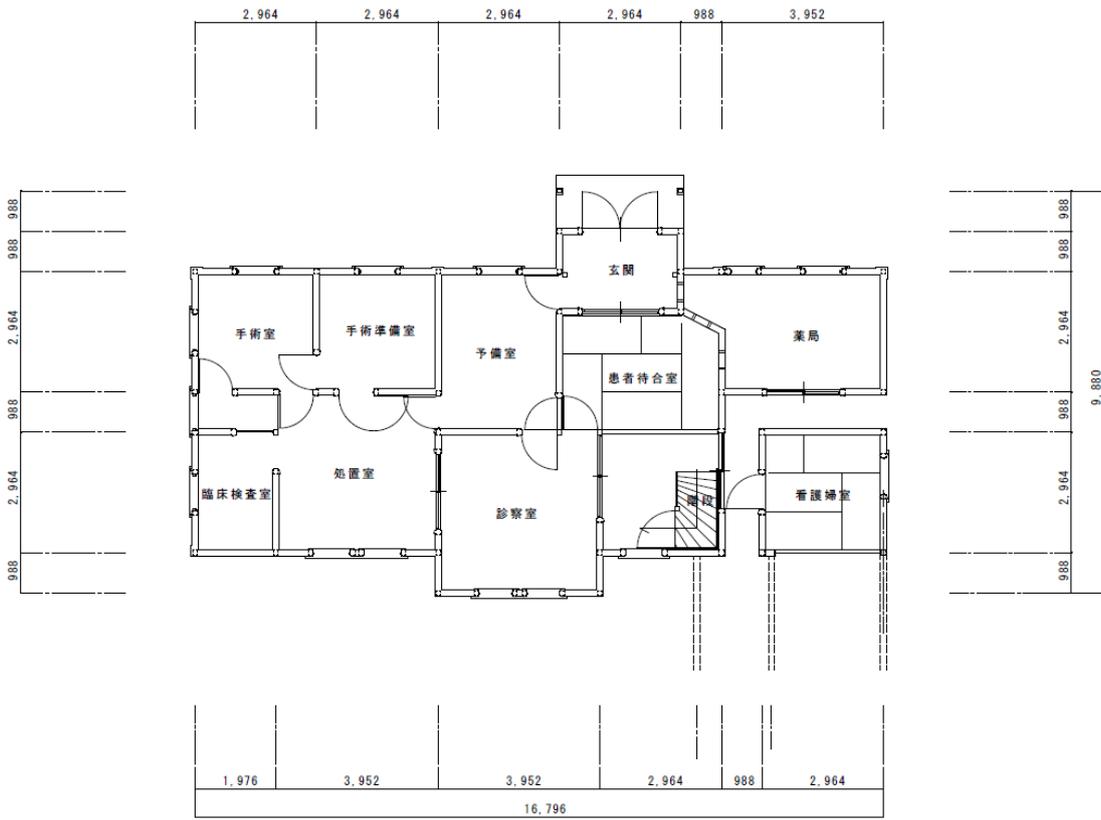


天草ビジターセンター

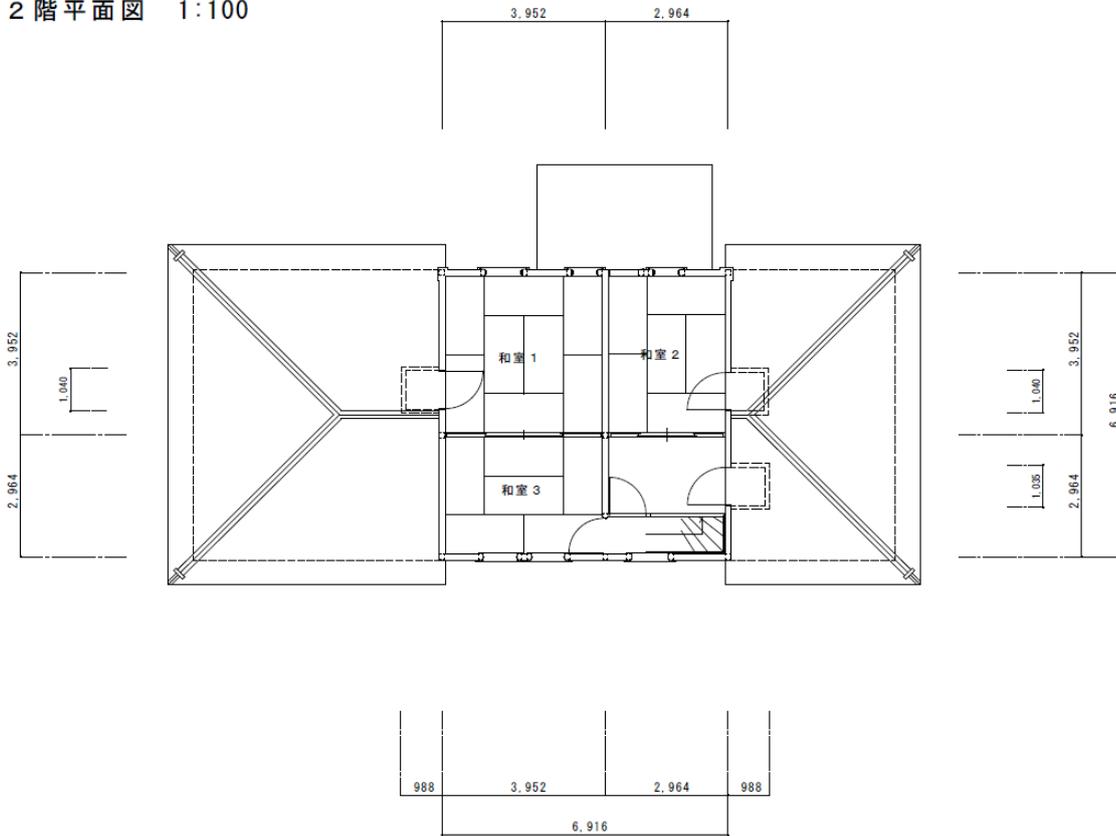


熊本市医師会館

1階平面図 1:100



2階平面図 1:100



4. 9. 2 辻医院・辻邸の記憶

辻医院が開院したのは大正14年4月です。4月3日に院舎及び住宅新築落成式が開かれた様子が、6日付の九州新聞、九州日日新聞両紙に掲載されています。旧中村小児科医院の中村スモル氏、清原猛雄などの名前も確認できます。棟札により岩永組の建築です。

あり終て院主の挨拶来賓として郡長
松本市医師会長、大塚校長、野原醫
師、東瀬登立町長、田村初太郎、幸
護次郎、清原猛雄の諸氏の祝辭にて
閉宴し田口旭陽氏の琵琶遊樂山を初
め三角祭香の手踊りや波多浦の歌
などの餘興で非常の賑合を呈せ夜
間は第二會場たる院附太陽座に於て
一行のため劇の催しがあつた院會
は入院室を初め各室住家共内外の
の美を極め通風採光などよく理想的
である而かも背後に三角山の翠峯を
控へ眼前に際海を擁ぎ實に景勝の
地で三角祭の宵後一町餘足らずであ

辻医院の新築落成式
熊本縣宇土郡三角町醫師 始氏の標
營に保る院舎が住宅新築落成式は三
日午後三時より同處内に舉行、來賓
増田少將、西岡宇土郡長、一万田翼
長、石川務關總長、松本市醫師會長
神尾三伯、東町長、細部觀學、魚住
正務部長、平田三角部長、浦本、本
田、萩野、中村各在座醫師、九州九
日記者其他郡内多数の醫師、町村會
議員、有志三百餘名、接村委員岡よ
り吉岡、渡邊、能勢、江良、北村の
諸氏三十名、烟火三發を合圖に開式
した此れより先同邸は早朝來正門二
ヶ所に鐵門を設け三角旗を懸へし會
場の周圍は映燈を懸して美々しく映
飾を施す先づ神式行事に入り非時
脚宜に依り祝儀、祝詞奏上、修職祝
の如く行ひ次で辻院主を初め祝儀贈
呈者並に増田少將、西岡郡長、石川
務關長、一万田翼長等逐次来事奉



大正14年4月6日 九州日日新聞の辻医院新築落成記事

落成時の写真



医院の棟札（本家の棟札も保存されていた）

- 棟梁 ○岩永喜久太郎
- 副棟梁 志曾喜三郎
- 大工 松川万■ 岩崎小三郎
原田■八 高橋辰治
近■政■ 坂本繁雄
平野重雄 近■常■
- 岩永一喜 ■川賢■
原田末利 宮川栄
豊田賢■ 中村義■
久保田一雄
- 製材部主人 ○岩永新平
○加古田利八
- 木挽 高橋重次
- 左官 宮川長太郎 作田直喜
松山宗雄 宮川国■
- 石工 吉野良平 波野用太郎
牛岡三二 波野区一郎
福■皆平
- 印は岩永家親族
■は確信を持った解読が困難なもの

辻邸は、同年11月24日の県費による三角東港第1期修築工事起工式の際の祝宴、昭和4年7月に港湾協会調査団が視察に訪れた際の宿所、打ち合わせ会場、昭和8年11月の重要港湾三角港修築起工式の際の慰労会など、東港築港の節目節目で交歓の場として利用されました。

辻医院は、昭和 15 年から辻始が死去する昭和 22 年まで「三角病院」として地域医療の中核を担います。戦時中の三角町防空計画では、辻邸が防空拠点、三角病院が救護所として位置づけられています。

昭和 30 年代、医院 2 階の広間では父たちが卓球に興じていたそうです。

昭和 45 年、本家（居住棟）の建て替えの際、医院の 2 階に仮住まいするため簡易な改築が行われました。卓球に興じていた広間を畳敷き 2 間に分割し、神棚が置かれました。すなわち、前頁の 2 階和室 1 と和室 3 は、一間の洋室だったのです。

父たちが巣立ち、入院を受け入れなくなると医務室棟 2 階や病室が家財置き場になっていきます。平成 11 年 9 月 24 日に直撃した台風 18 号で、屋根瓦の一部がめくれ上がる被害がありました。



平成 11 年 9 月 24 日、台風 18 号での辻医院屋根瓦の被害と松合地区高潮被害の報道記事

平成 20 年、辻医院がドラマのロケ地として利用されました。フジテレビ系列九州 7 局ネットの TKU 制作ドラマ、郷土の偉人シリーズ第 16 弾「夢の足跡…マナブ間部～ブラジルと日本に架けた虹～」の病院や住居のシーンの舞台となりました。主演の斎藤暁・賀来千香子が撮影のために訪れました。祖母が還暦祝いで始めた趣味の油彩画作品が小道具としても利用されました。



父が病に倒れたシーンの「病院」として

サンパウロの「住居」として



祖母が描いていた油彩画を小道具としても使用（ロケ地は西港）

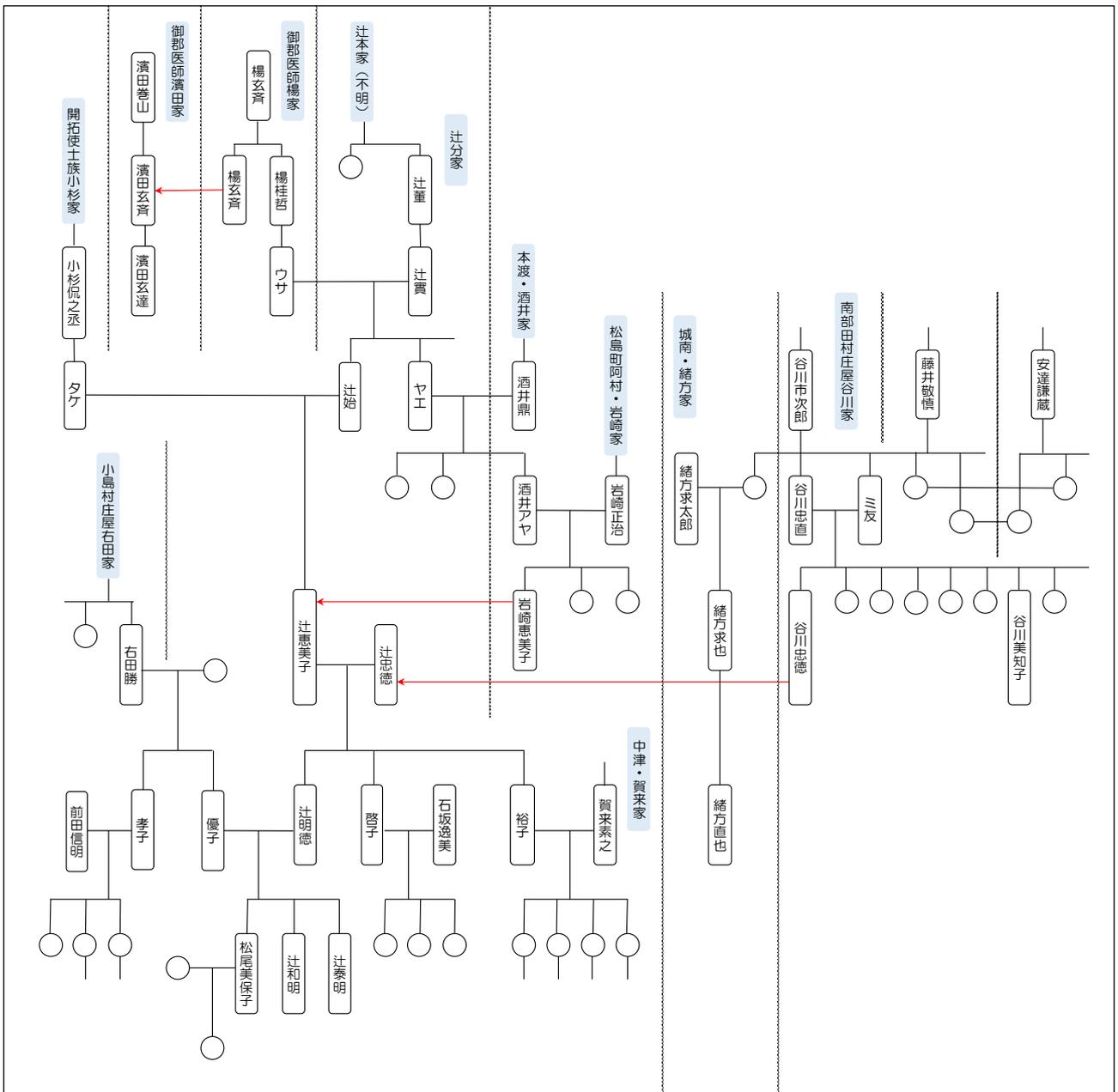
斎藤暁、祖母、賀来千香子

4. 9. 3 辻家の記憶

明治以前の辻家については資料も少なく、よくわかっていません。辻始の属する分家が、内野河内村（現上天草市松島町）から三角町波多に移住したのが明治20年代と推測されます。辻始の母、ウサが三角の御郡医師・楊家に生まれているので三角にも縁があったのでしょう。辻始と濱田玄達は楊家を介した親戚関係にあり、玄達没後、辻始が医学史研究家でもあった佐伯理一郎から玄達の人となりについて取材を受けていた手紙が辻家に残っています。

辻始は北海道道庁時代に知り合った開拓使士族・小杉侃之丞の娘、タケと結婚します。小杉侃之丞は北海道大学の前身、開拓使仮学校で電信を学んだ生徒で、開拓使に勤務していた人物です。函館市の写真館、松前城などに関連した史料が辻家に残されていました。

辻家の系譜



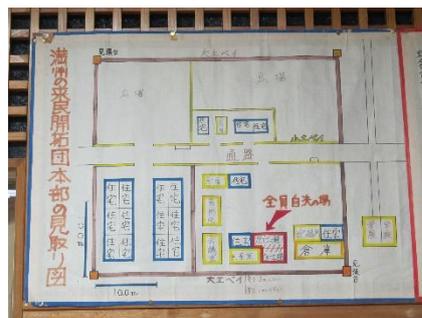
辻始・タケ夫妻は子宝には恵まれなかったため、姪の酒井アヤを養子にしようと考えますが、アヤが岩崎正治と婚姻したため、その娘を養子にしようと思美子を溺愛します。岩崎正治は北九州小倉で歯科医の勉強をするため、家族を連れて北九州に移り住み、思美子は小倉高等女学校に通いました。思美子とタケの文通が一部、残っています。歯科医ではなく、医師として身を立てたいと考えていた正治は、昭和16年、満州開拓の保健指導員に応募し、来民開拓団・黒川開拓団担当の保健指導員として単身赴任します。昭和20年8月17日、来民開拓団集団自決により岩崎正治は命を落としました。被差別部落地区の融和事業として、日本史上唯一の部落出身者中心の海外開拓団が結成され、1人の生存者を残して275名が犠牲になるという戦争史、部落史上の重要な記憶に、辻家が関与しています。



来民開拓団慰霊祭



来民開拓団供養塔



来民開拓団の「記憶の継承」

戦後、辻始が亡くなると、岩崎思美子を養女、九州帝大医学部で医学を学んだ谷川忠徳を養子とする養子縁組により辻家が継承されました。忠徳の実父は県議を務めた谷川忠直、祖父に熊本県議長、代議士を歴任した藤井敬慎、姉に後の熊大教育学部家庭科教授・谷川美知子などが名を連らねています。

忠徳・思美子夫妻には2女1男が生まれ、末っ子の長男が私の父で現在、熊本市民病院放射線科医師の辻明徳です。皆様もご存知の通り、熊本市民病院は熊本地震で深刻な被害を受け、東町に建設中の新病院開院まで病床20床での厳しい経営が続いています。辻医院所有者だった祖母・思美子は発災時に益城町のさくら病院に入院中でした。私の弟、和明は熊本地震発災4週間後の5月12日に持病の悪化で亡くなり、震災関連死に認定されています。妹、美保子は熊大創薬の大学院修士了後、化血研に勤務していましたが、震災後、結婚を機に退社し薬学部でアルバイトしています。今年の2月6日には姪が誕生しました。私の前職は、平成22年9月1日から3月末までの、くまモン大阪神出鬼没大作戦の現地スタッフ（緊急雇用創出事業での期間契約）で、ツイッターやブログによる情報発信業務に従事していました。平成23年3月11日、九州新幹線全線開業を翌日に控えて発生した東日本大震災…。8年前の本日、知名度ゼロからスタートした大阪くまモンの初仕事の場所は、大阪市中央公会堂でした。

熊本県史上の様々なエピソードと関与し、後世に伝えるべき記憶を有しているのが辻家なのです。



平成30年熊本地震追悼式



くまモン初仕事の大阪市中央公会堂



大阪港でのNHK取材

最終章 未来へ

5. 1 辻医院のこれから

去年の6月20日、祖母が亡くなってからのことを振り返るとキセキの連続でした。職歴に長いブランクが生じていた私が、辻医院の調査のため連絡をとった大学時代の恩師、柿本教授が調査を依頼してくれたのが磯田先生ご夫妻でした。7月下旬、旧中村小児科医院・鈴木邸の解体が報道され現地取材。8月4日、七七忌に集まった伯母たちと掛け軸を整理すると、天草高浜の上田家に伝わっていた富岡敬明の書を発見。9月1日、上田家を目指して運転していたカーラジオで聞いていた田中尚人先生出演のNHKの防災番組が伝えていたのは、新町古町地区の熊本地震後失われゆく町屋の現状でした。9月21日、旧暦八朔未明の「不知火」見物のため三角を訪ねて大量の史料群を発見。9月24日熊本市役所での「歴史を活かしたまちづくり」シンポジウムを聴講。設計施工者が不詳のため、直感的に岩永組の社史を探していたところ、10月6日の調査で棟札が見つかり岩永組の建築であることが判明しました。11月26日、PS オランジュリでの「城下町を語り継ぐフォーラム」に参加。12月15日、熊大に勤務することが決まり柿本先生を訪ねた足で聴講した熊大100周年記念館での建築学会九州支部のイベントで富士川さんと出会い、現在に至ります。

辻医院も未指定歴史的建造物災害復旧支援事業の補助対象建造物リストに入っていますが、施工者設計費用の見積もりが半年以上滞っており進展のない状態です。その間にも固定資産税、庭木の剪定・除草費用、ライフラインの維持費用が高み、建物は傷んでいきます。



解体中の旧中村小児科医院



昨年訪ねた天草・上田家



歴史を活かしたまちづくりシンポ

4月からの三角西港・浦島屋の入居テナントの公募型プロポーザルに応募者がありませんでした。ショッピングセンターの閉店に続いて、三角浦市街地のコンビニ2店も相次いで姿を消しました。商いが困難な、過疎・高齢化の進行した三角の現状があります。7月21日のみすみ港祭りの総踊りに参加していた団体の多くが、医療・福祉施設でした。

新町古町地区の歴史的建造物とは異なり、地方の歴史的建造物はいかに維持費を捻出していくのかが課題になります。持続可能な辻医院の保存・活用策を模索中です。

医院を文化施設とし病棟部をゲストハウスのような活用が出来ないか、医院だけを残して小高い丘の上の防災公園的な活用が出来ないかなど、考えるアイデアは様々です。辻医院も含めた熊本県南・環不知火海の物流史・産業史関連施設で日本遺産のストーリーを編めないかという構想も抱いています。多くの専門家、地域の声を参考に、辻医院の処遇を考えていきたいと思えます。今日の見学会が「復興」への第一歩と述懐できるよう精進していく所存です。ツアーへのご参加、誠にありがとうございました。

5. 2 周辺情報

最後に、本日は紹介できなかった三角周辺（宇城市内）のトピックを列挙します。

- 戸馳大橋 …旧橋の老朽化に伴う架け替え工事で新橋建設中。来年の完成を目指す。
- 若宮海岸 …不知火が観測できる海水浴場。横井迦南の句碑がある。
- 花の学校 …洋ランの生産ハウス見学施設。京都からUターンした夫婦がカフェを営む。
- サイハテ …東日本大震災後、新しいライフスタイルを志向する市民が移住したエコビレッジ。
- 郡浦神社 …阿蘇四社と称される旧社格の郷社。境内には神風連の乱に関連した石碑がある。
- 矢崎城跡 …南阿蘇の一心行の大桜の由縁になった、峯（中村）伯耆守惟冬が戦火に散った場所。
- 濱田玄達生誕地、墓地…三角町大岳地区が玄達生誕の地。国道266号沿いに案内板がある。
- 松合地区 …平成11年の高潮被害から復興した歴史的まちなみ。過疎・高齢化で苦戦が続く。
- 錦寿司 …ミシュランガイド熊本・大分版に掲載された寿司屋。平成11年の高潮被害を受けた。
- 不知火美術館…くまもとアートポリス建築。今春、マナブ間部展が開かれていた。
- 博物館ネットワークセンター…24日まで「知られざる明治の熊本人」開催中。竹田ハツメの展示も。
- 宇城市郷土資料館…市内の郷土資料館を統合して、7月21日にリニューアルオープンした。
- 小川地区 …熊本地震で大きく被災した歴史的まちなみ。風の館塩屋がまちづくり拠点。

JR三角線の時刻表

熊本	西熊本	川尻	宇土	網田	三角
619	624	627	635	658	715
721	726	729	737	759	816
806	811	814	822	841	858
902	906	909	917	939	956
1000	1005	1008	1016	1036	1052
1035	-	-	1045	-	1112
1135	1140	1143	1151	1211	1227
1223	-	-	1236	-	1303
1228	1232	1236	1244	1309	1326
1326	1331	1334	1342	1406	1423
1437	-	-	1447	-	1515
1445	1450	1453	1501	1523	1540
1600	1605	1608	1617	1636	1653
1702	1707	1710	1718	1736	1755
1832	1837	1840	1848	1907	1924
1911	1916	1919	1928	1947	2004
2029	2034	2037	2045	2108	2124
2129	2134	2137	2145	2207	2224
2234	2238	2242	2250	2309	2325

三角	網田	宇土	川尻	西熊本	熊本
552	608	627	636	639	644
640	657	718	727	730	735
724	740	759	808	811	816
823	841	901	910	913	918
904	921	940	948	952	956
1017	1035	1102	1110	1114	1119
1120	-	1147	-	-	1157
1132	1149	1210	1219	1222	1227
1232	1250	1310	1318	1322	1326
1331	1347	1406	1415	1418	1423
1350	-	1422	-	-	1431
1444	1503	1523	1531	1535	1539
1557	1614	1637	1645	1648	1653
1619	-	1651	-	-	1701
1659	1715	1737	1746	1749	1754
1807	1824	1848	1857	1900	1905
1929	1947	2006	2015	2018	2023
2032	2048	2108	2117	2120	2125
2132	2148	2207	2216	2219	2224

赤字 は「A列車で行こう」。運航日に注意。